



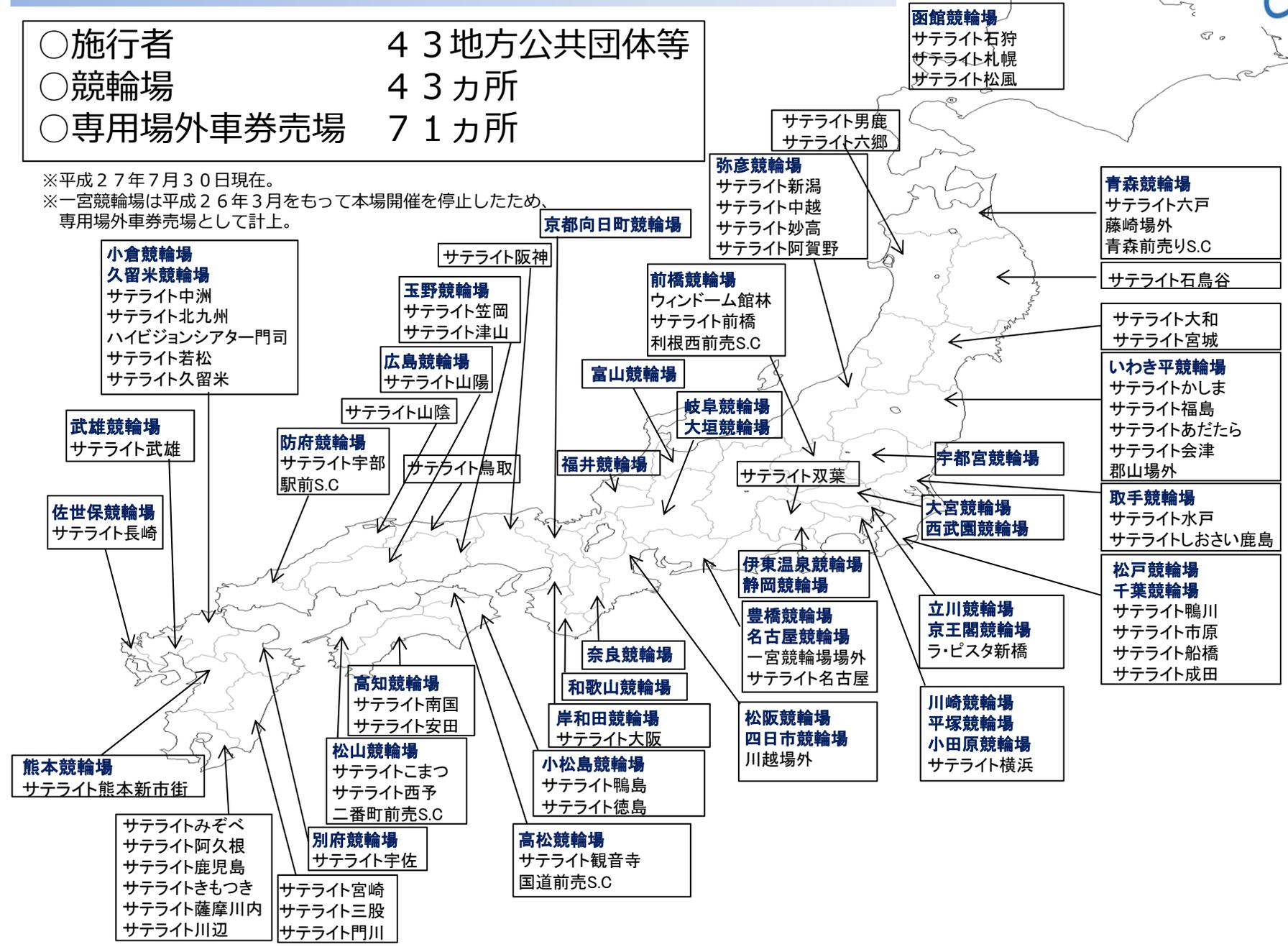
競輪・オートレースを巡る 最近の状況について

平成27年7月30日
経済産業省製造産業局
車両室

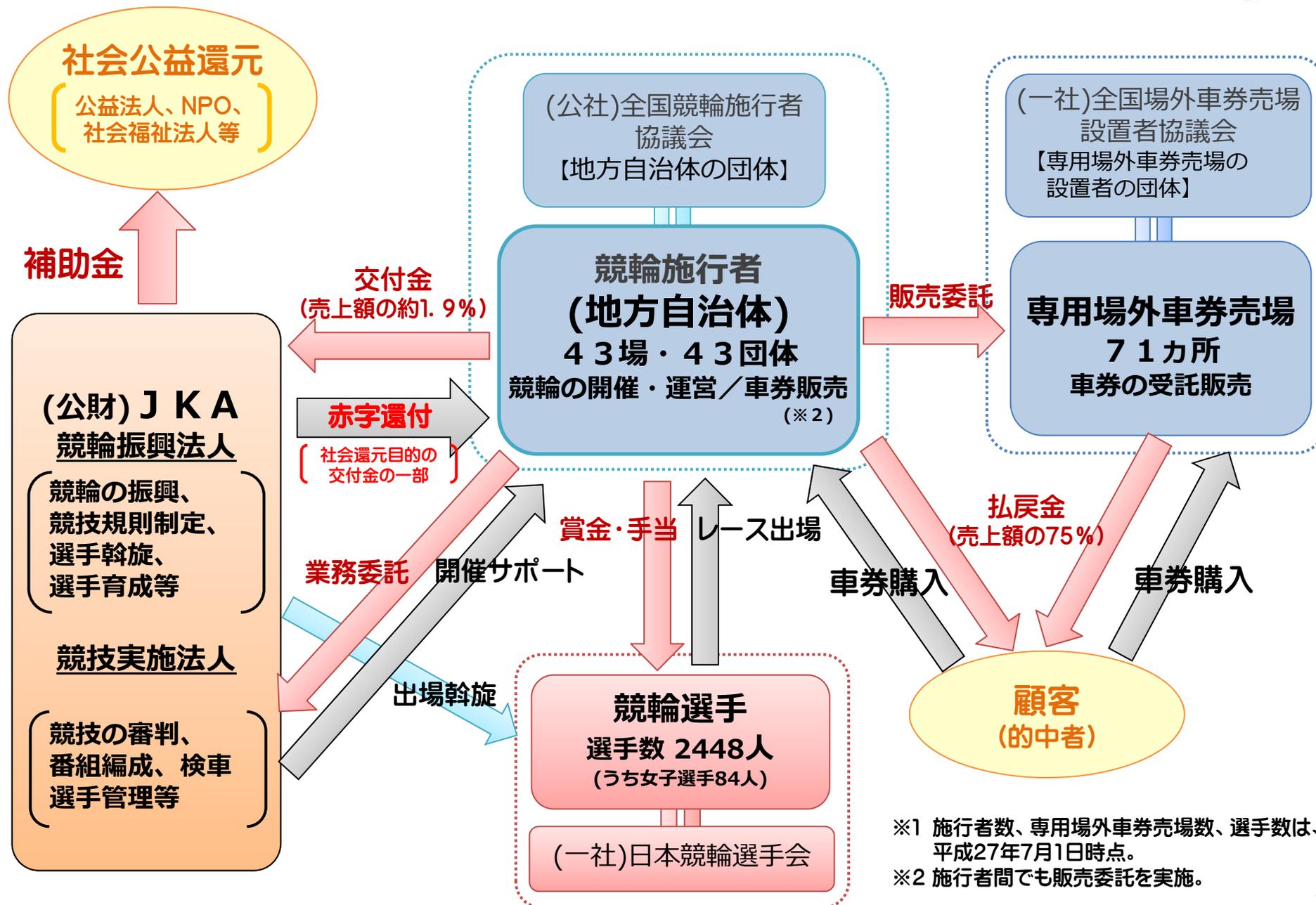
1. 競輪場・場外車券売場の所在地

○施行者	43	地方公共団体等
○競輪場	43	カ所
○専用場外車券売場	71	カ所

※平成27年7月30日現在。
 ※一宮競輪場は平成26年3月をもって本場開催を停止したため、
 専用場外車券売場として計上。

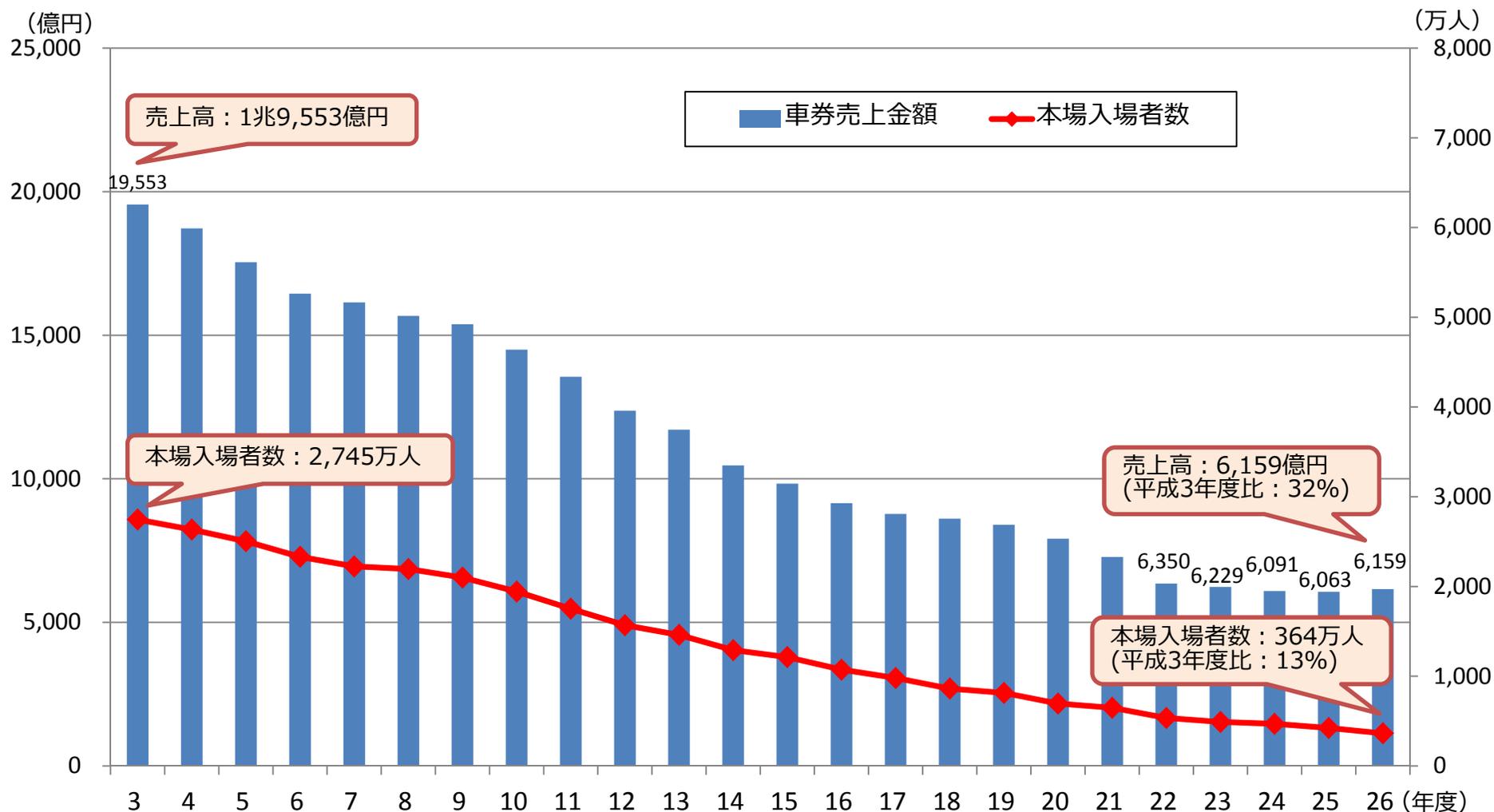


2. 競輪事業の運営体制



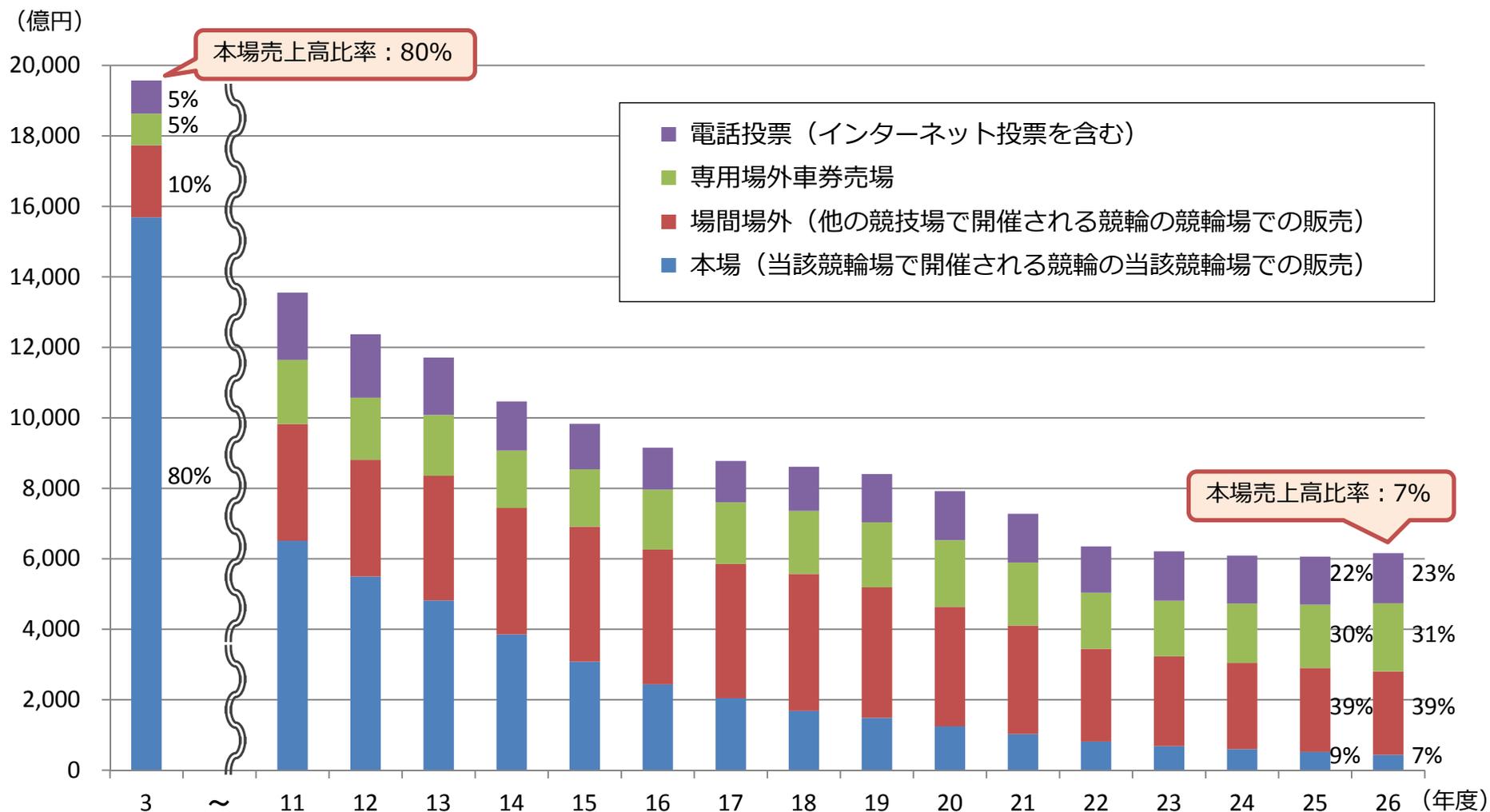
3. 競輪の売上高・本場入場者数の推移

- 競輪の売上高は、平成26年度に23年ぶりに増加に転換。
- 直近の売上高は、ピーク時（平成3年度）に比べて約70%減少。
本場入場者数は、ピーク時（平成3年度）に比べて約85%減少。



4. 競輪の売上高の販路別構成比の推移

- 本場の売上高は、全体の7%。
- 場間場外、電話投票(インターネット投票を含む)の売上高は、平成26年度はそれぞれ本場の約5.4倍、約3.3倍。

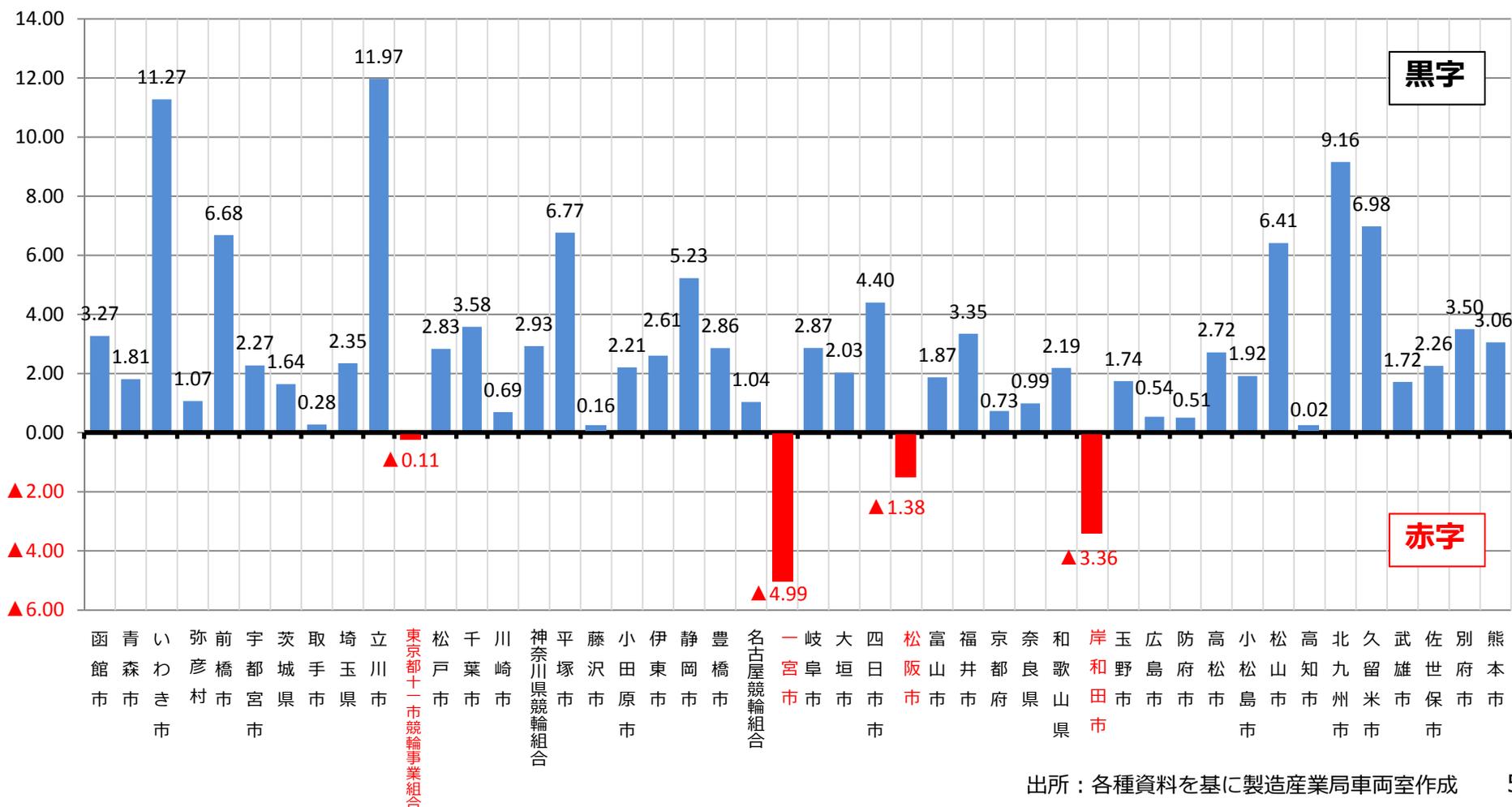


5. 競輪施行者の営業活動収支

- 施行者の営業活動収支(投資活動と財務活動以外の収支)は、平成25年度は合計122.6億円。
- 46施行者(※)のうち、黒字は42、赤字は4。(平成24年度は赤字は8)

※平成25年度営業活動収支実績。

(億円) ※一宮競輪場は平成26年3月をもって本場開催を停止。神奈川県競輪組合、藤沢市は平成27年3月に競輪事業を撤退。

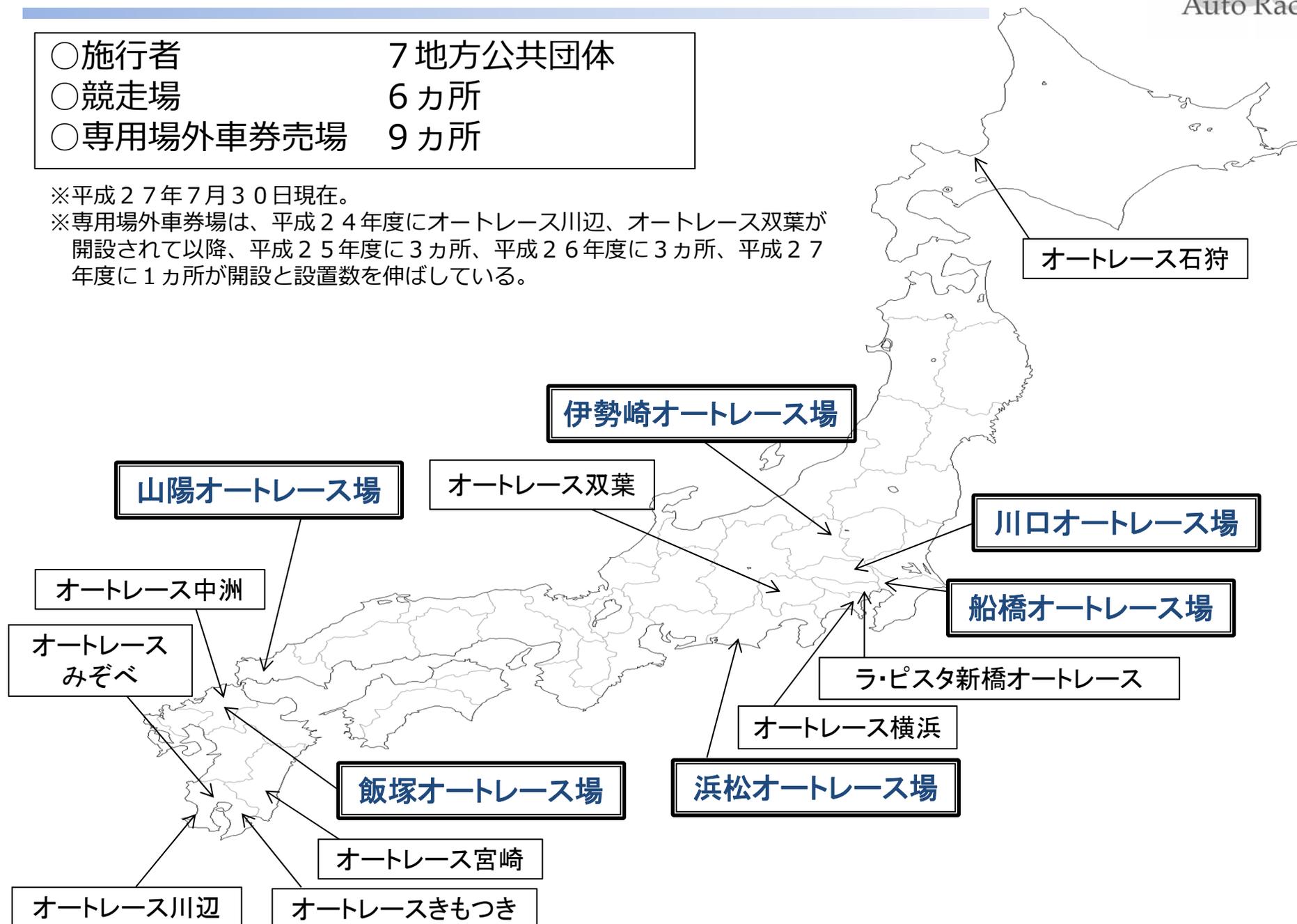


6. オートレース場・場外車券売場の所在地

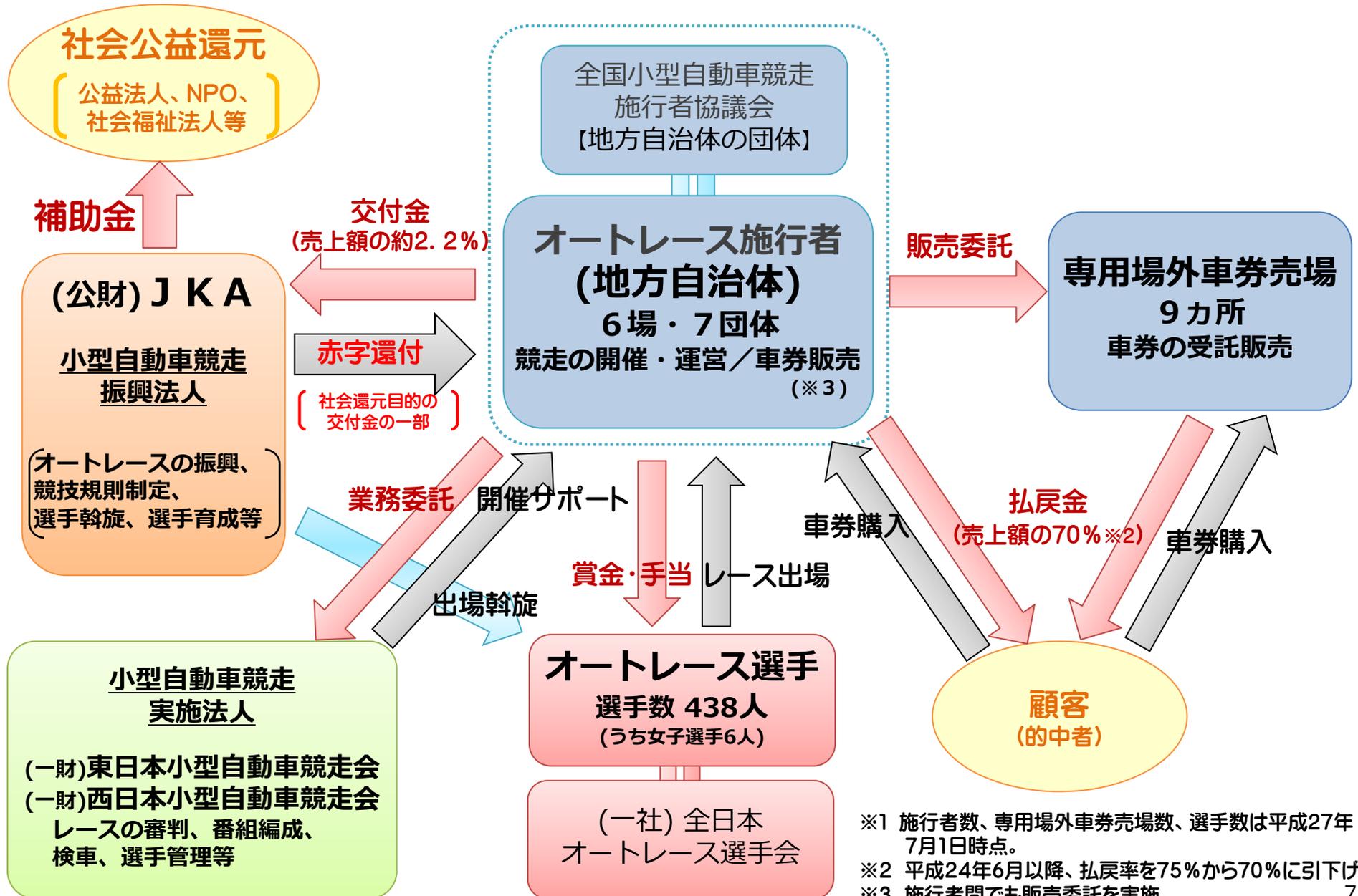
- | | |
|-----------|----------|
| ○施行者 | 7 地方公共団体 |
| ○競走場 | 6 カ所 |
| ○専用場外車券売場 | 9 カ所 |

※平成27年7月30日現在。

※専用場外車券場は、平成24年度にオートレース川辺、オートレース双葉が開設されて以降、平成25年度に3カ所、平成26年度に3カ所、平成27年度に1カ所が開設と設置数を伸ばしている。



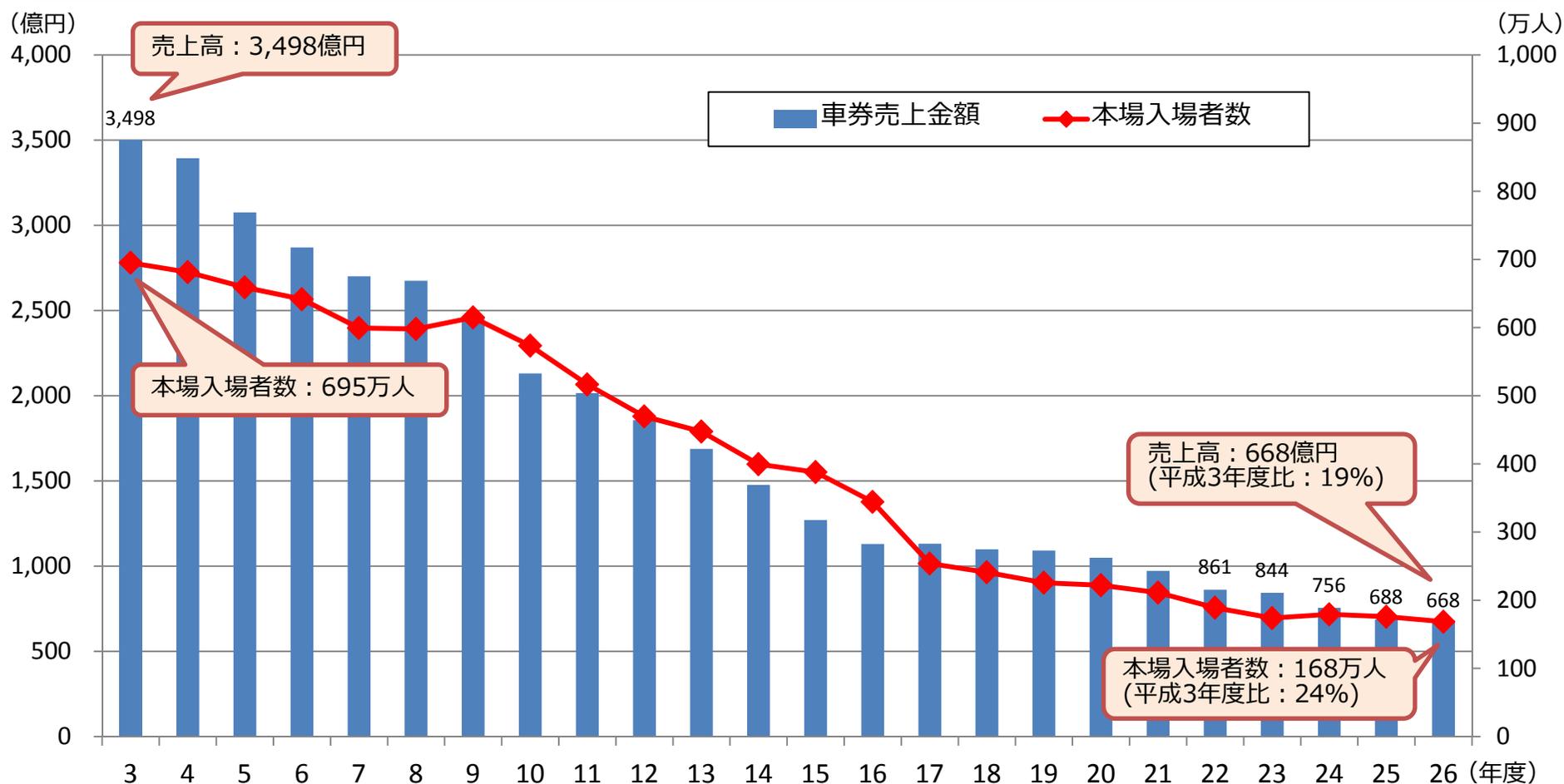
7. オートレース事業の運営体制



8. オートレースの売上高・本場入場者数の推移

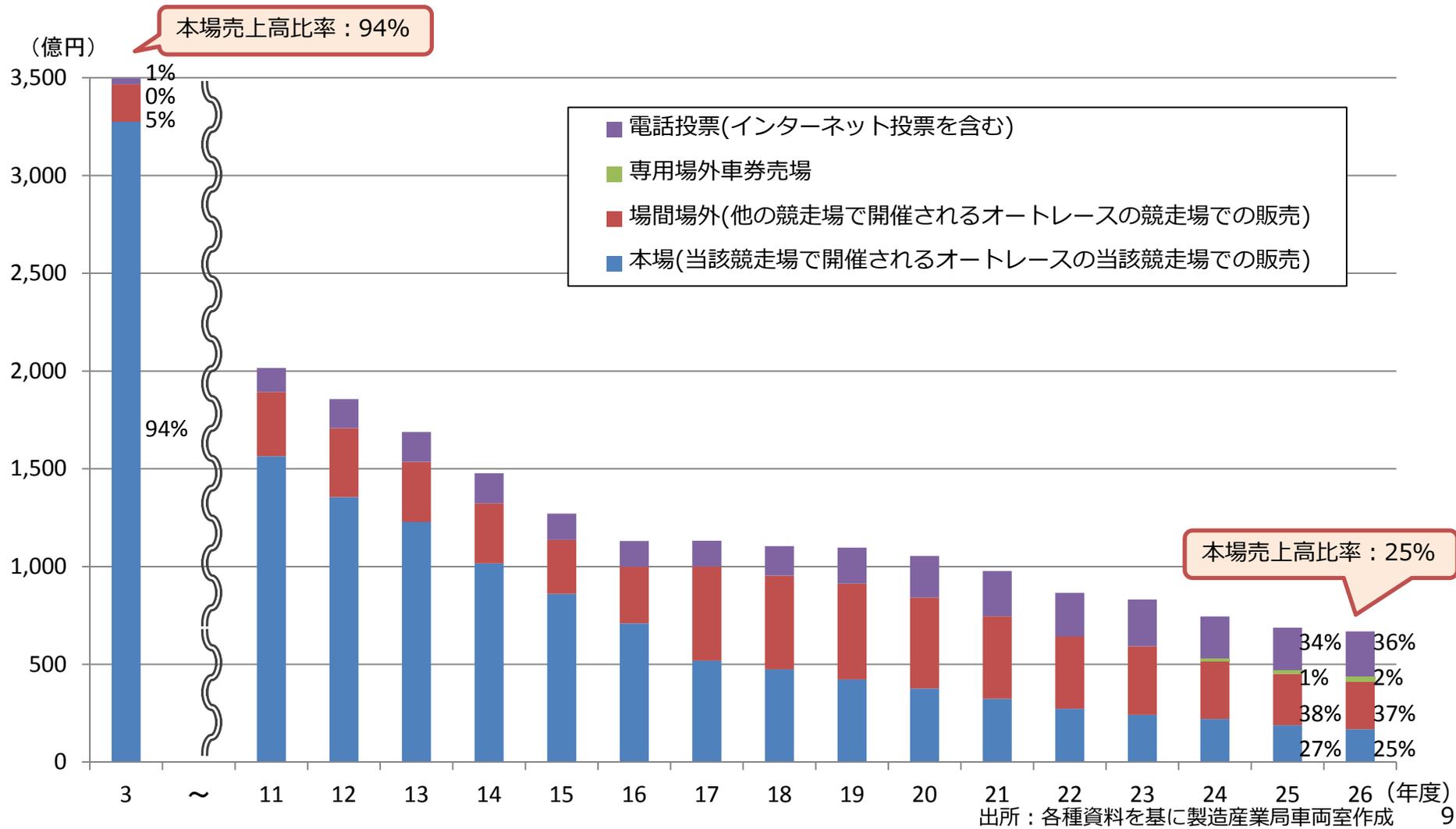


- オートレースの売上高は、ほぼ一貫して減少しているが、平成26年度は6場中4場が増加。
- 直近の売上高は、ピーク時（平成3年度）に比べて約80%減少。
- 本場入場者数は、ピーク時（平成3年度）に比べて約75%減少。



9. オートレースの売上高の販路別構成比の推移

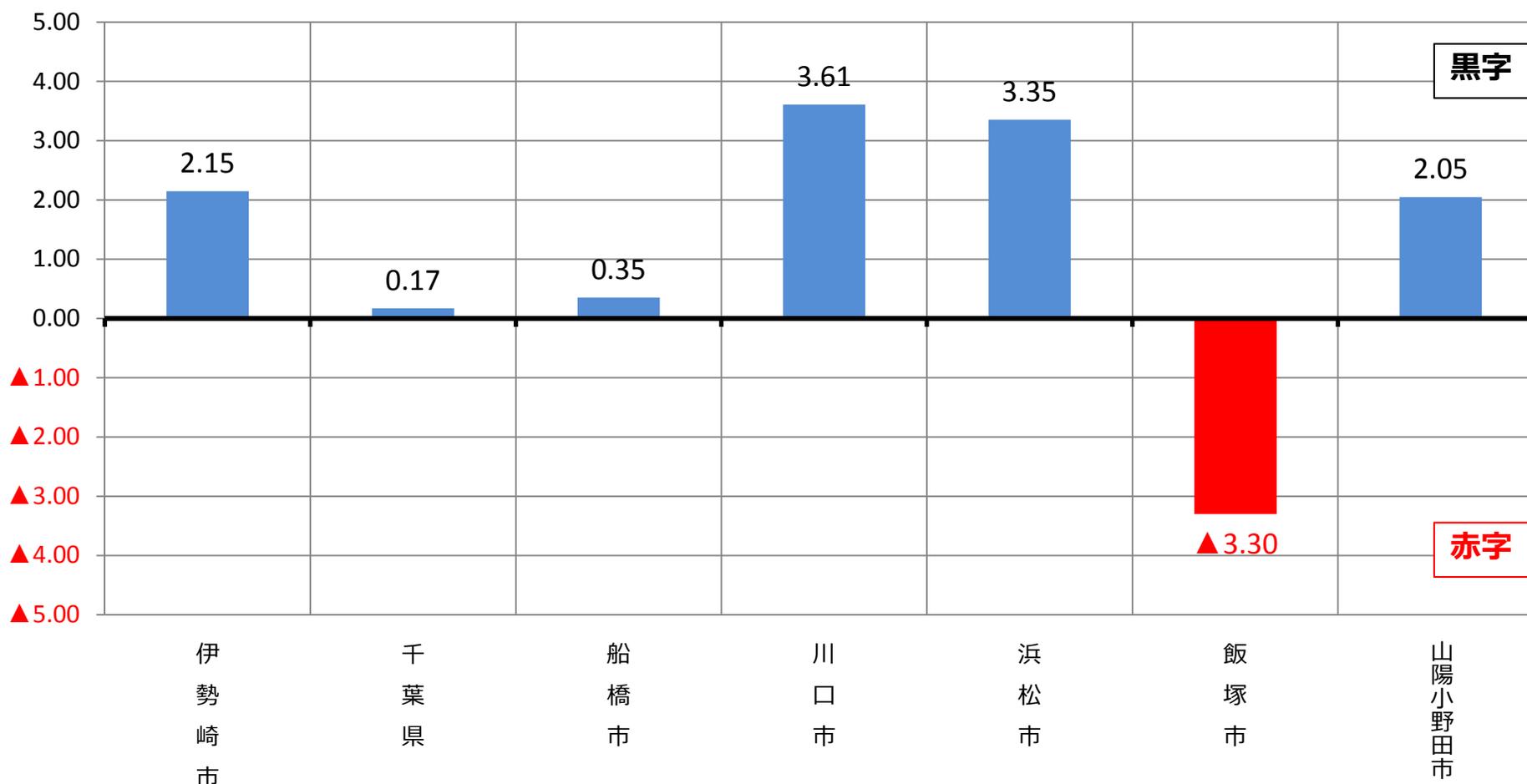
- 本場の売上高は、全体の25%。
- 場間場外、電話投票(インターネット投票を含む)の売上高は、本場と大差がない。



10. オートレース施行者の営業活動収支

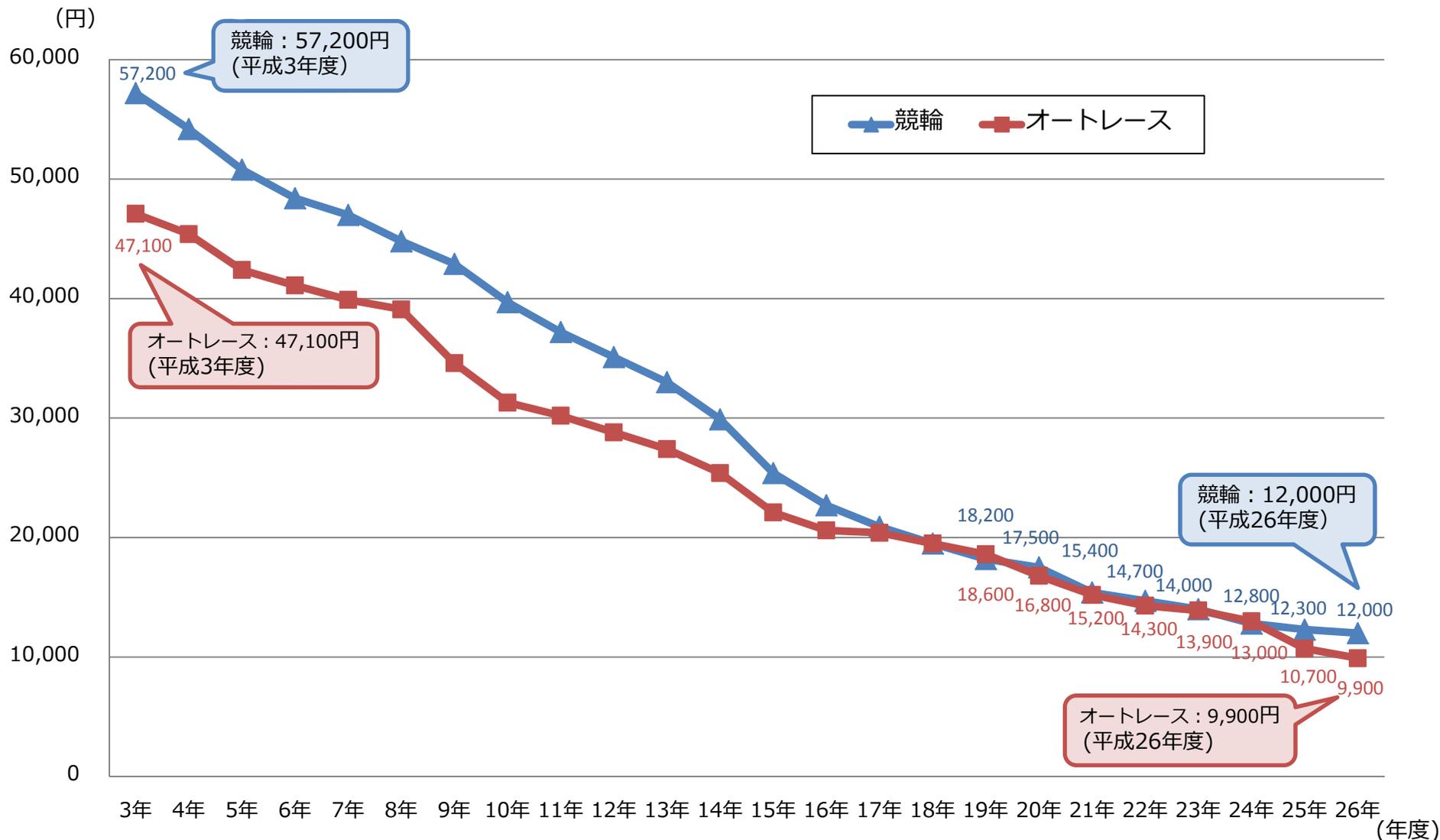
- 施行者の営業活動収支(投資活動と財務活動以外の収支)は、平成25年度は合計8.4億円。
- 7施行者のうち、黒字が6、赤字が1。(平成24年度も赤字は1)

(億円) ※平成25年度営業活動収支実績。



1 1. 競輪・オートレースの本場入場者の平均購買額

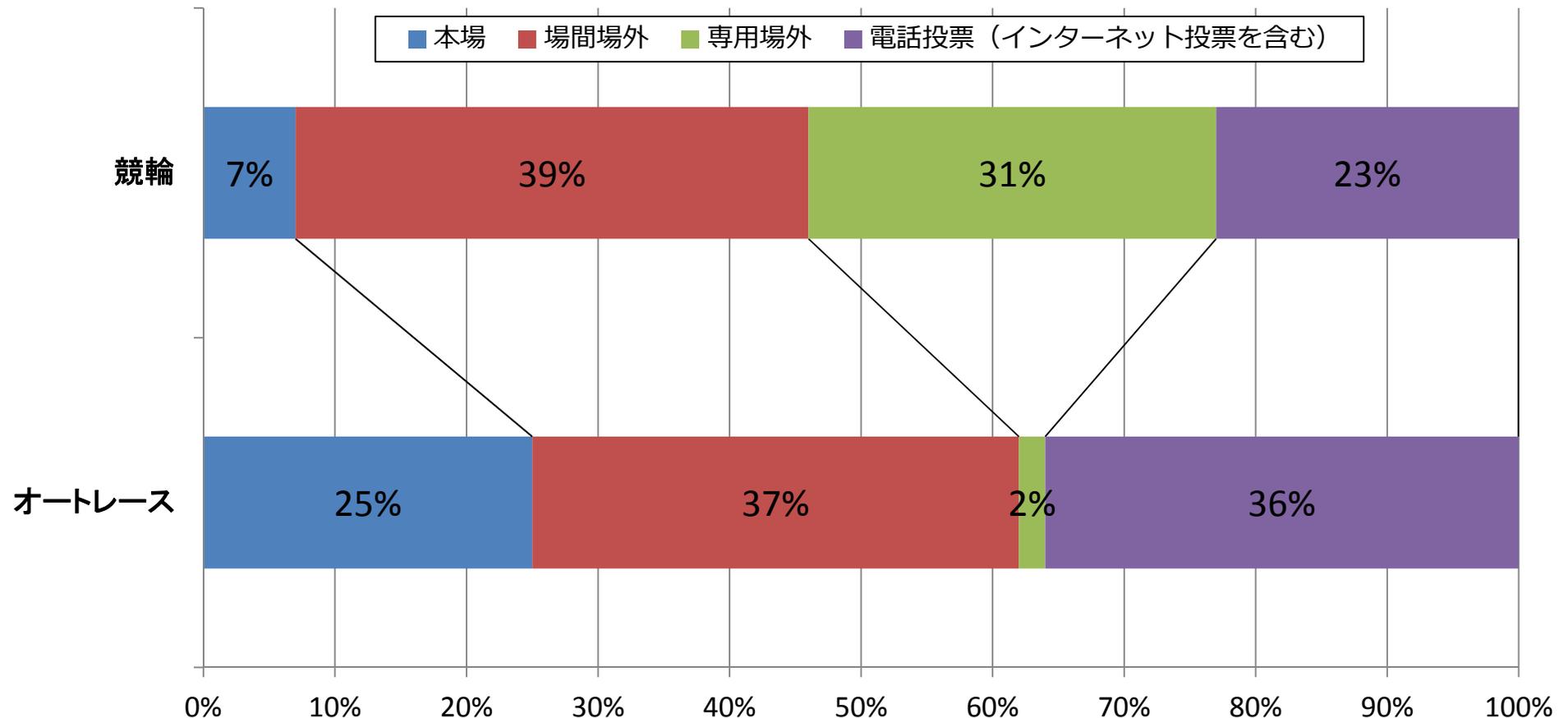
○ 1人当りの1日平均購買額は、近年では年1000円程度ずつの減少傾向。



1 2. 競輪・オートレースの販売特性

- 競輪は、本場の販売比率が最も低い。
- オートレースは、専用場外車券売場が増えてきているものの、依然として専用場外の販売比率が極端に低い。

※競輪・オートレースともに平成26年度売上実績。
※専用場外の数、競輪場で71、オートで9。

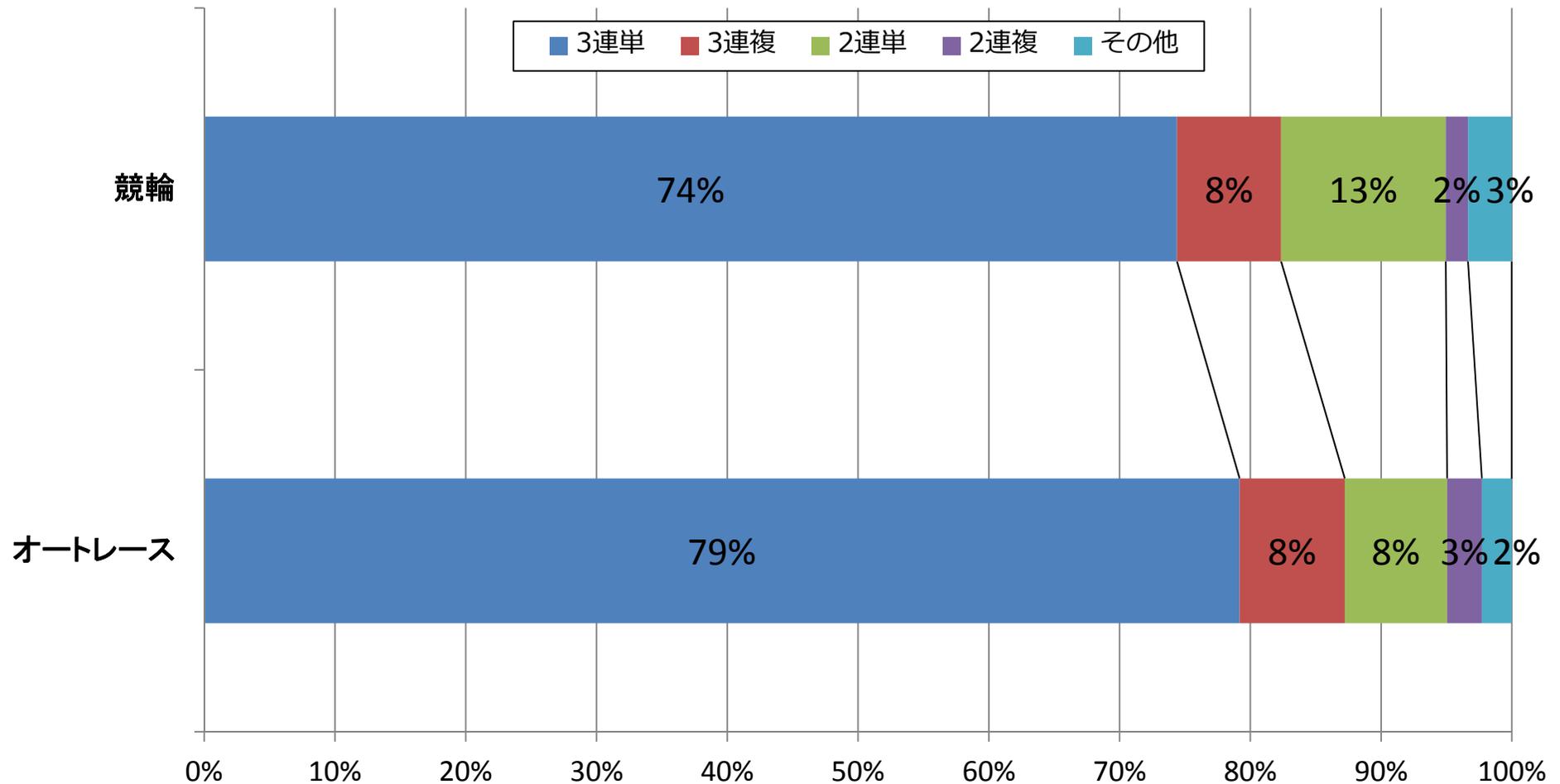


13. 競輪・オートレースの賭式別の売上比率

○高配当が期待される「3連単」の売上比率が7割以上を占める。

※競輪・オートレースともに平成26年度売上実績。

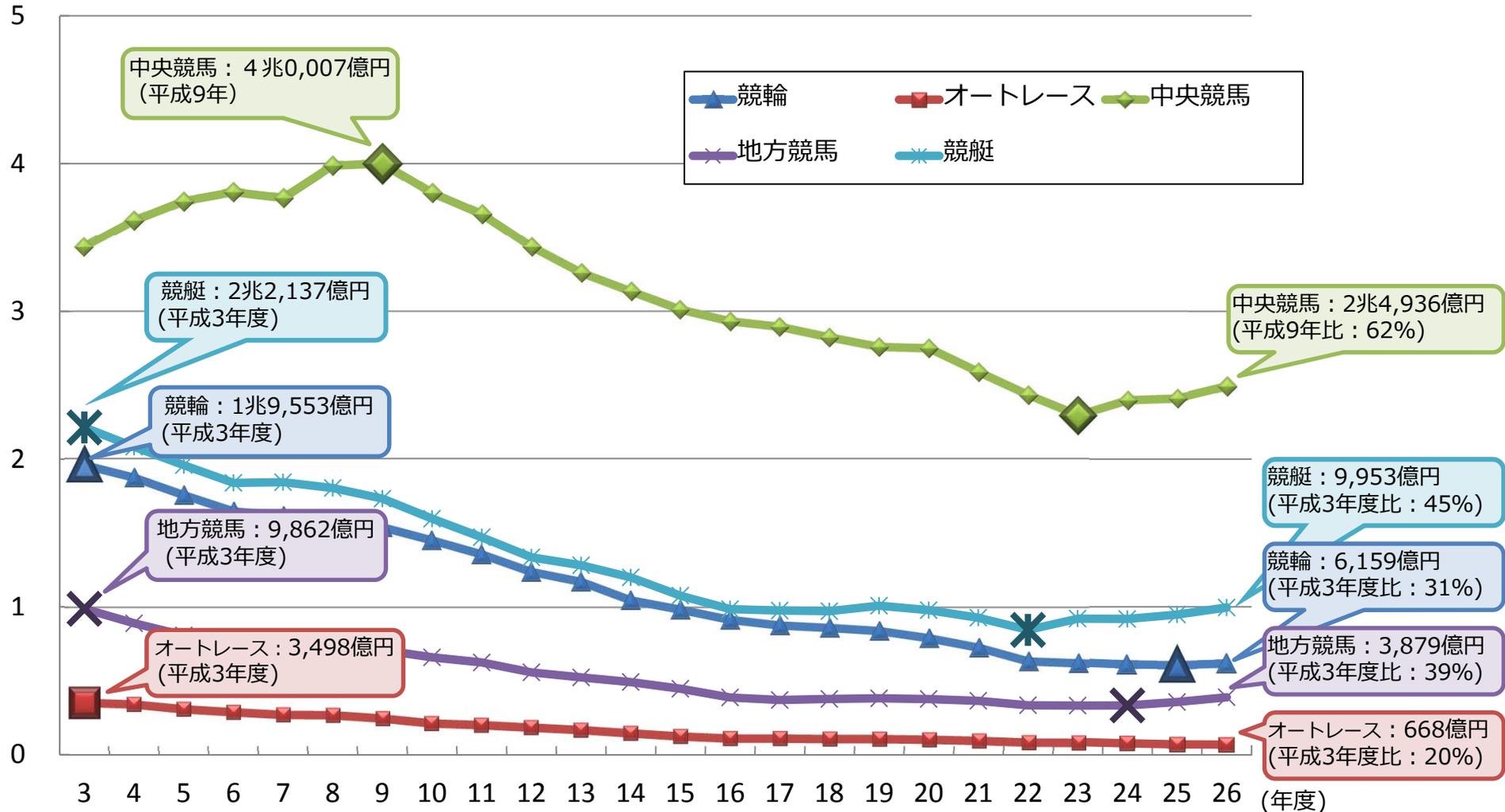
※グラフ内「その他」は、競輪では2枠単・2枠複・ワイド・重賞の合計、オートレースでは単勝・複勝・ワイド・重勝の合計を示す。



1 4. 公営5競技の売上高の推移

○競艇は平成23年度、中央競馬は平成24年、地方競馬は平成25年度、競輪は平成26年度にそれぞれ増加に転換。

(兆円) ※中央競馬のみ暦年で算出。



15. 公営5競技の本場入場者の平均購買額

- 公営5競技の1人当りの1日平均購買額は、公営5競技全てで低下傾向にある。
- 中でも、競輪・オートレースは減少幅が大きい。

